SONY®

3-230-616-**03**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-B15

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

目次

お使いになる前に

基本的な使いかた

用件の編集

(次ページへ続く)

目次（つづき）

その他の機能

その他

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
ボタンの名称は英語になっておりますので、( )内に表記されている英語の名称をご覧ください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

電池についての安全上の ご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

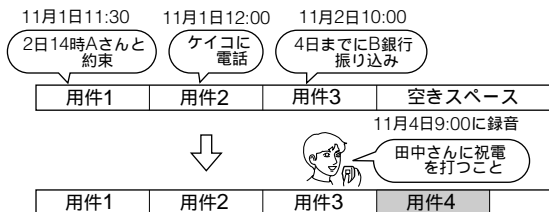
⚠注意

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

ICレコーダーとは?

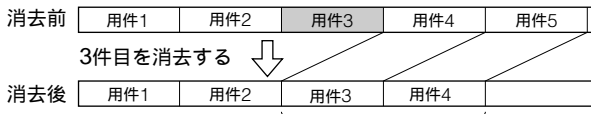
本機は、ICメモリーを使用して手軽に声のメモなどを録音できるICレコーダーです。簡単な操作で、録音や再生が手軽にできます。

●録音

ICレコーダーでは、新しく用件を録音すると、自動的にメモリーの最後尾に記録されます。このため、テープレコーダーのように、他の用件の上から録音してしまう失敗がありません。
さらに、テープレコーダーと異なり、録音を始めるところまで早送りや巻き戻しをする必要がないので、必要なときにすぐ録音を始められ、大変便利です。

●再生

テープレコーダーのように巻き戻しをする必要がないので、今録音したばかりの用件をすぐに聞くことができます。また、聞きたい用件を簡単に探して聞くことができます。

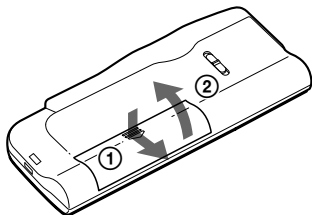
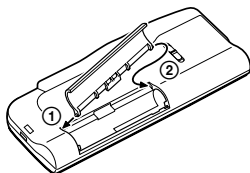
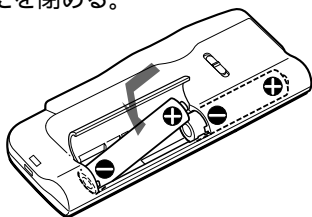
●消去

不要な用件は、簡単に消すことができます。
途中の用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、テープのようにブランクができません。

主な特長

- **最大録音時間**　127**分**(SP)／339**分**(LP)
  長時間の会議や講義なども録音できます。
- **5つのフォルダに各99件まで録音可能。**
- **アラーム再生機能（32ページ）**
  設定した時刻に自動的に用件を再生することができます。
- **タイマー録音機能（29ページ）**
  設定した時刻に自動的に録音を開始、終了することができます。
- **インデックス追加・削除機能（25、27ページ）**
  「インデックス」を追加し、好きなところで用件を分割したり、削除して2つの用件をひとつにつなげることができます。
- **1件リピート・A-Bリピート再生機能（18、20ページ）**
  1つの用件、または、用件の指定した区間を繰り返し再生できます。
- **イージーサーチ機能（19ページ）**
  用件を再生中、10秒先に早送りしたり、3秒間早戻しして聞いたりすることができます。
- **再生スピード調節機能（18ページ）**
  用件を速聞きまたは遅聞きできます。
- **デジタルVOR（自動音声録音スタート）機能（15ページ）**
- **上書き録音・追加録音機能（23、24ページ）**
  録音済みの用件に対して、用件の途中から続けて上書き録音したり、用件の後ろに続けて新たに追加して録音することができます。
- **外部マイク端子（15ページ）**

準備

準備1：乾電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」（10〜11ページ）の手順2〜4をご覧になり、時計を合わせてください。

(次ページへ続く)

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

▭ が点滅したら、電池を交換してください。

▭ が点滅すると電源が切れ、操作ができなくなります。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから３分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。
  なお、録音した内容やアラーム設定、タイマー録音設定は消えません。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池の持続時間(ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)使用時)

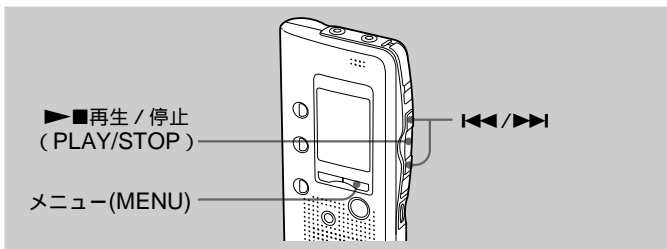
連続使用の場合：録音時　約7.5時間（SP)、約15時間（LP)
　　　　　　　　再生時　約6時間*（SP)、約8時間*（LP)

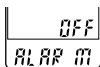
* 音量（VOL）つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合
* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意

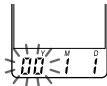
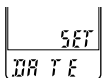
本機にはマンガン電池はお使いになれません。

準備2：時計を合わせる

タイマー録音やアラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 メニュー(MENU)ボタンを押す。

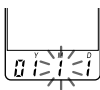
メニューモードに入ります。

2 時計設定画面を表示する。

① **I◀◀を1回押して「SET DATE」を表示させる。**

② **▶■ボタンを押す。**
「年」の数字が点滅します。

3 年月日を合わせる。

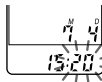
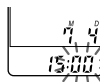
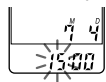
① **I◀◀または▶▶Iを押して「年」の数字を選ぶ。**

② **▶■ボタンを押す。**
「月」の数字が点滅します。

③ **同様にして、「月」、「日」を合わせ、▶■ボタンを押す。**
「時」の数字が点滅します。

4 時分を合わせる。

① **I◀◀または▶▶Iを押して「時」の数字を選ぶ。**

② **▶■ボタンを押す。**
「分」の数字が点滅します。

③ **同様にして、「分」を合わせる。**

5 時報と同時に▶■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

SET DATE表示に戻ります。

6 メニュー(MENU)ボタンを押す。

☞ 本機には電源スイッチはありません。表示窓には常に表示が出ています。

用件を録音する

A、B、C、D、Eの5つのフォルダそれぞれに99件までの用件を録音できます。
●録音／停止（REC/STOP）ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

例：

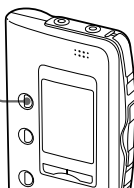
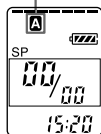
用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

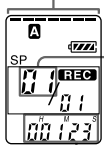
ご注意
長時間録音するときは、新しい電池を入れてください。録音を始める前に必ず電池残量表示（10ページ）を確認してください。

1 録音したいフォルダを選ぶ

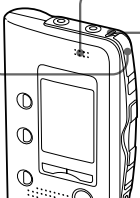
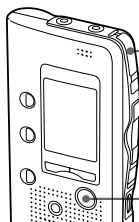
フォルダ(FOLDER)ボタンを何度か押して用件を録音したいフォルダ（A〜E）を表示させる。

フォルダの種類

A
SP
00/00
15:20

2 録音を始める

① **●録音／停止(REC/STOP)ボタンを押す。**

② **内蔵マイクに向かって話す。**

録／再(OPR)ランプ
(録音中は赤く点灯)

●録音／停止（REC/STOP）ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

* 表示(DISPLAY)ボタンで設定した表示（36ページ）が表示されます。

3 録音を止める

録音を止めるには
●録音／停止 (REC/STOP)ボタンの代わりに■停止 (STOP)ボタンを押して、録音を止めることもできます。

次に録音するとき、フォルダが同じ場合は、手順1は省略できます。

録音の途中で止めるには（一時停止）

一時停止する*	❚❚一時停止 (PAUSE)ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再(OPR)ランプが赤く点滅し、「PAUSE」表示が点滅します。
一時停止を解除する	もう一度❚❚一時停止 (PAUSE)ボタンを押す、または●録音／停止 (REC/STOP)ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■停止 (STOP)ボタンを押します。)

* 録音を一時停止して約1時間たつと、一時停止は解除され、録音停止になります。

録音するときのご注意
録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。

(次ページへ続く)

☞ **内蔵マイクの感度を切り換えるには**
用途に合わせ、メニューでマイク感度 (SENS)を、「H」（会議録音モード）または「L」（口述録音モード）に切り換えることができます。マイク感度を切り換えるには、38ページをご覧ください。

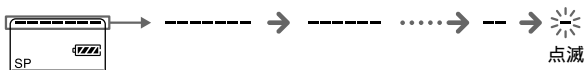
録音可能時間について

最大録音時間は、全フォルダ合わせて下記のようになります。

SP**モード**	LP**モード**	SP**と**LP**混在**
127分	339分	127〜339分の間

お買い上げ時は、SPモードが選択されています。録音モードを切り換えるには、38ページをご覧ください。録音可能な残り時間は、表示モード（36ページ）を切り換えて、「残り時間表示モード」で確認することができます。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

録音中に残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示の最後の一つが点滅し、残り時間が1分を切ると、「REMAIN」の表示と設定した表示モード(36ページ)が交互に点滅します。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、「ピピピピ」という警告音が鳴り、「FULL」表示(40ページ）が点滅します。不要な用件を消去してください（21ページ）。

いろいろな録音のしかた

音がしたとき自動的に録音を始めるには—デジタルVOR機能

メニューでデジタルVOR（自動音声スイッチ）を「ON」にすると、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。デジタルVORを設定するには、38ページをご覧ください。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度(SENS)を「H」または「L」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「OFF」にしてください。

外部マイクや他の機器から録音するには

マイク（MIC)ジャックに別売りのミニプラグ付きマイクロホン(43ページ）をつないだり、別売りの接続コードRK-G64（日本国内のみ）を使ってテープレコーダーやテレビ、ラジオのイヤホン端子とつなぎます。

外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

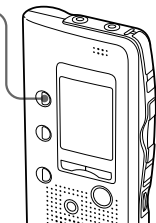
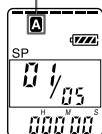
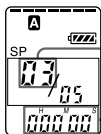
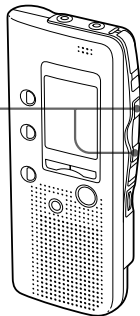
録音済みの用件に追加録音、上書き録音をするには

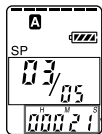
23、24ページをご覧ください。

録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

1 フォルダを選ぶ

フォルダ(FOLDER)ボタンを押して再生したい用件を録音したフォルダを表示させる。

2 用件番号を選ぶ

*表示(DISPLAY)ボタンで設定した表示(36ページ) が表示されます。

3 再生を始める

1つの用件の再生が終わると、次の用件の始めで停止します。
フォルダ内の最後の用件の再生が終わると、その用件の始めに戻って停止します。

イヤホンやヘッドホンで聞くには

付属のイヤホンまたは別売りのイヤホンやヘッドホンをイヤホン（EAR）ジャックに差し込んでください。スピーカーからは音が出なくなります。両耳タイプのイヤホンまたはヘッドホンを差すと、左（L）側からのみ音が聞こえます。雑音が入るときは、イヤホンまたはヘッドホンのプラグをきれいに拭いてください。

再生の途中で止める

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	■停止(STOP)ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する*	►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。 もう一度►■ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

* ❚❚一時停止(PAUSE)ボタンを押しても、再生を一時停止できます。このときは、録／再(OPR)ランプが緑に点滅します。また、約1時間たつとその位置で停止状態になります。

(次ページへ続く)

録音した用件を聞く（つづき）

その他の操作

今聞いている用件の頭に戻る	⏮ を短く1回押す。*
前の用件、さらに前の用件に戻る	⏮ を短く何回か押す。*（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	⏭を短く1回押す。*
さらに次の用件に進む	⏭を短く何回か押す。*（停止中は押したままにすると、連続して進みます。）
速聞きする	裏面の再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「速い（FAST)」にする。(約30%速い速度で再生されます。)
遅聞きする	裏面の再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「遅い（SLOW)」にする。(約15%遅い速度で再生されます。)
普通の再生スピードに戻す	裏面の再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「標準（NORMAL)」にする。

* EASY-SがOFFに設定されている場合の操作です。ONに設定されている場合の操作は19ページの「聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能」をご覧ください。

同じ用件を繰り返し聞くには — 1件リピート再生

再生中に►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを1秒以上押します。

「⮎」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。

リピート再生をやめて普通の再生に戻るには、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押します。

再生を止めるには、■停止(STOP)ボタンを押します。

用件の頭だけをひと通り聞くには — スキャン再生

停止中に►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを1秒以上押します。

「SCAN」が表示され、選んだファイル内の最初の用件から最後の用件まで始めの5秒ずつ再生します。

聞きたい用件がみつかったら、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押すと、その用件を続けて聞くことができます。

ファイル内の用件を続けて聞くには — コンティニュー再生

38ページをご覧ください。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

早送りするには、再生中に▶▶Iを押し続け、聞きたいところで離します。
早戻しするには、再生中にI◀◀を押し続け、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ（4秒単位で）早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。
しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。
用件と用件の間では2秒間一時停止します。
早送り／早戻し中は、表示モード（36ページ）の設定に関係なく、カウンター表示になります。
一時停止中でも同様の操作ができます。聞きたいところで離すと、そこで一時停止状態となります。

☞ **最後の用件の終わりまで早送りすると**

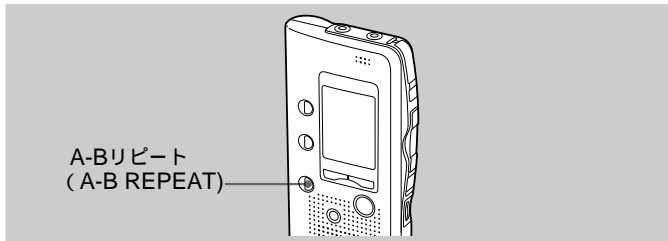
最後の用件の終わりまで送られると、「END」表示が5秒間点滅します。点滅中は録／再(OPR)ランプは緑に点灯しています。（再生音は聞こえません。）「END」の点滅中にI◀◀ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
「END」の点滅と録／再(OPR)ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。

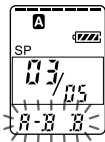
最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶Iボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「END」表示の点滅中にI◀◀ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
（最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。）

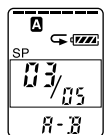
聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能

EASY-SをONに設定しておくと、再生中または再生一時停止中にI◀◀ボタン、▶▶Iボタンを何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます。
I◀◀ボタンを1回押すごとに約3秒前、▶▶Iボタンを1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
イージーサーチのON/OFF設定については「メニュー一覧」（37ページ）をご覧ください。

指定した区間を繰り返し聞く—A-Bリピート

用件の再生中に、繰り返し聞きたい区間の最初（A点）と最後（B点）を指定します。

1 再生中にA-Bリピート（A-B REPEAT)ボタンを短く押して、A点を指定する。

「A-B B」が点滅します。

2 もう一度A-Bリピート（A-B REPEAT)ボタンを短く押して、B点を指定する。

「A-B」と表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

普通の再生に戻すには

►■再生／停止（PLAY/STOP)ボタンを押します。

A-Bリピート再生を止めるには

■停止（STOP）ボタンを押します。

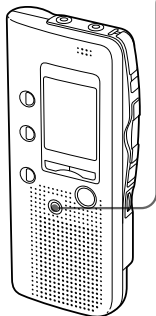
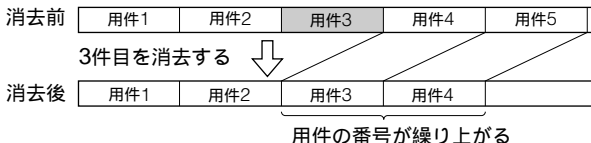
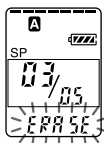
ご注意

- ２件以上の用件にまたがってA-Bリピートの区間を指定することはできません。
- B点を指定しないと、その用件の終わり（または始め）が自動的にB点になります。

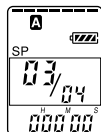
録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、または1つのフォルダ内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

① **消去したい用件を再生中に消去(ERASE)ボタンを押す。または、停止中に消去(ERASE)ボタンを１秒以上押す。**
「ピピーピ」という確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

② **「ERASE」の点滅中に消去(ERASE)ボタンをもう1度押す。**
用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。
(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。）

(次ページへ続く)

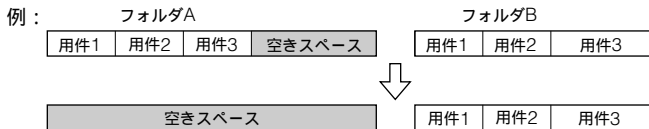
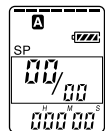
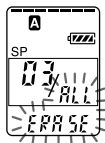
基本的な使いかた

録音した用件を消去する（つづき）

☞ **途中で消去をやめるには**
手順②の前に■停止(STOP)ボタンを押します。

☞ **他の用件を消去するには**
手順①と②を繰り返します。

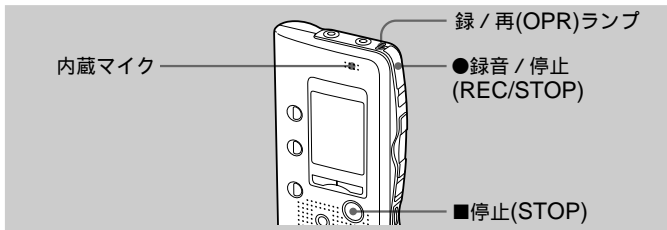
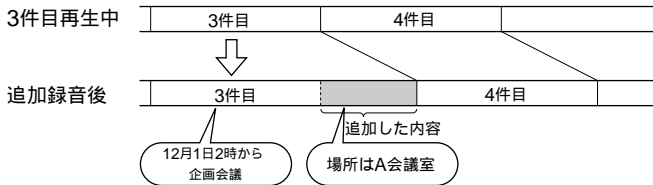
☞ **ひとつの用件の一部分だけ消去するには**
インデックスを追加（25ページ）して、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んで前ページの操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

1つのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。

途中で消去をやめるには

手順③の前に停止■(STOP)ボタンを押します。

録音済みの用件に追加または上書き録音する

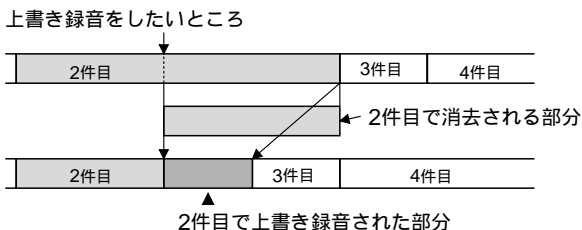
録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。
新しく追加した内容は、どこで録音を始めても、再生中の用件の最後に追加されます。
用件番号は新たにつけられるのではなく、再生中の用件の一部として数えられます。

1 再生中に●録音／停止(REC/STOP)ボタンを1秒以上押す。

「REC」が表示され、「ADD」が3回点滅します。
録／再(OPR)ランプは赤に変わります。
再生中の用件に追加録音されます。

2 ●録音／停止(REC/STOP)ボタンまたは■停止(STOP)ボタンを押して録音を止める。

(次ページへ続く)

録音済みの用件の途中から上書き録音する

用件の中の指定した場所に新たに録音することができます。すでに録音してあった部分は消去されます。

1 再生中に●録音／停止(REC/STOP)ボタンを短く押す。

「OVER」が点滅し、録／再(OPR)ランプは赤く点滅します。

2 ●録音／停止(REC/STOP)ボタンを押して録音を開始する。

「REC」が表示され、録／再(OPR)ランプは赤く点灯します。

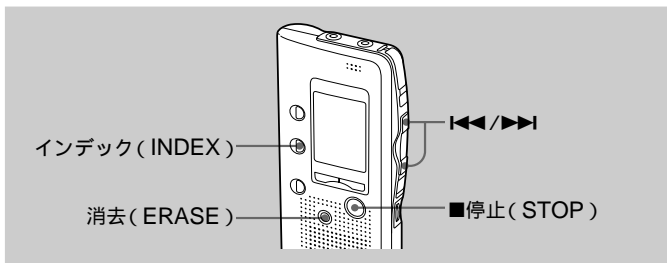
3 ■停止(STOP)ボタンを押して録音を止める。

ご注意

- 追加・上書き録音する部分は、再生中の用件の録音モード（SPまたはLP）と同じ録音モードで録音されます。メニューで設定した録音モード（38ページ）とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- メモリー残量が不足している場合は上書き録音ができません。詳しくは「故障かな？と思ったら」（40ページ）をご覧ください。

用件をふたつに分ける／つなげる
−インデックス追加／削除

ひとつの用件の途中に「インデックス」を追加してふたつに分割したり、「インデックス」を削除してふたつの用件をひとつにつなげることができます。

録音中／再生中 − インデックス追加ができます。（下記参照）
停止中 − インデックス削除ができます。（27ページ参照）

用件をふたつに分ける（インデックス追加）

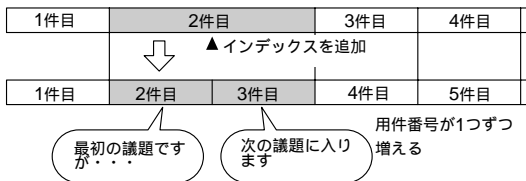
再生中または録音中に、用件に「インデックス」を追加し、用件を分割することができます。

インデックスを追加すると、その場所から新たな用件番号がつくため、会議など長時間録音の場合に、再生したい場所が素早く探せるので便利です。

1件目	2件目		3件目	4件目

▲インデックスを追加

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目

最初の議題ですが・・・
次の議題に入ります
用件番号が1つずつ増える

(次ページへ続く)

用件をふたつに分ける／つなげる — インデックス追加／削除（つづき）

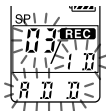
●録音中にインデックスを追加するには

用件の録音中に、インデックスを追加したいところでインデックス（INDEX）ボタンを押す。

押したところから新しい用件番号がつき、その番号が3回点滅します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

1件目	2件目	3件目

▲ インデックスを追加

→ 続けて録音される

☞ 録音一時停止中（13ページ）にもインデックスを追加できます。

●再生中にインデックスを追加するには

分割したい用件を再生し、インデックスを追加したいところでインデックス（INDEX）ボタンを押す。

用件が分割され、新しい用件番号が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ送られます。

☞ ❚❚一時停止(PAUSE)ボタンで再生一時停止中（17ページ）にもインデックスを追加できます。

インデックスを追加した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に|◀◀ または▶▶|を押して再生する部分を探してください。

☞ **分割した用件を続けて聞くには**
38ページ「コンティニュー再生」で「CONT ON」を選ぶと便利です。

用件をつなげる（インデックス削除）

「インデックス」を削除することで2つの用件を１つの用件にまとめることができます。

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目
	⇩	▲ インデックスを削除		
1件目	2件目		3件目	4件目

用件番号が1つずつ減る

停止中に操作します。

1 ⏮または⏭ ボタンで、つなげたい2つの用件のうち、後ろのほうの用件番号を選ぶ。

2 インデックス（INDEX）ボタンを押しながら消去（ERASE）ボタンを1秒以上押す。
「ID ERASE」が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去（ERASE）ボタンを押す。
2つの用件が1つの用件にまとまり、用件番号が上図のようにつけ直されます。

インデックスの削除を途中でやめるには

手順3の前で■停止（STOP）ボタンを押します。

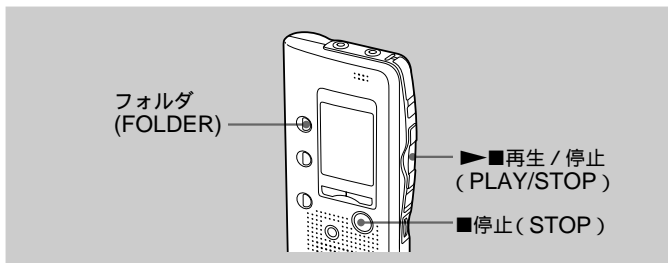
ご注意

用件をつなげると、後ろの用件のアラーム設定（32ページ）は削除されます。

インデックス追加・削除についてのご注意

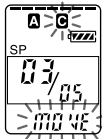
ICレコーダーの録音方式のシステム上の制約により、インデックスの追加／削除ができなくなることがあります（42ページ参照）。

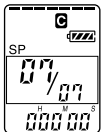
用件を別のフォルダに移動する－ムーブ

録音済みの用件を、他のフォルダに移動させることができます。

例：フォルダAの3件目の用件をフォルダCに移動する場合

1 移動させたい用件を再生する。

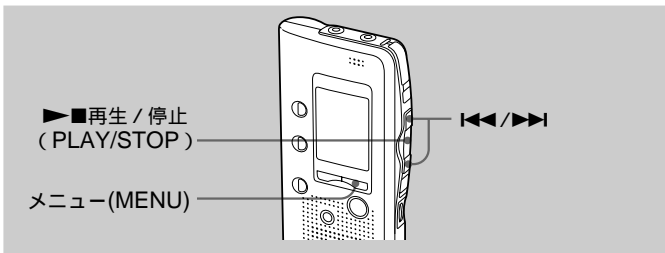
2 用件の再生中にフォルダ(FOLDER)ボタンを押して、移動先のフォルダを点滅させる。

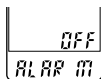
移動先のフォルダ（この場合は「C」）と「MOVE」表示が点滅し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

3 ►■再生／停止(PLAY/STOP)ボタンを押す。

（例：フォルダCに既に6件入っていた場合）

途中でフォルダの移動をやめるには
手順3の前に■停止(STOP)ボタンを押します。

ご注意
ムーブ機能を使って用件を移動すると、もとのフォルダからは用件がなくなり、移動先のフォルダのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

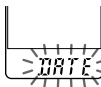
希望の時刻に録音を始める— タイマー録音

あらかじめ設定した時刻に録音を開始、終了することができます。

1 タイマー録音設定画面を表示する。

① メニュー(MENU) ボタンを押す。
メニューモードに入り、「ALARM」が表示されます。

② I◄◄ または►►Iボタンを押し、「TIMER」を表示させ、►■ボタンを押す。
「OFF」が点滅します。

ご注意
時刻設定をしていない場合は、タイマー録音設定はできません。

③ I◄◄ または►►Iボタンを押して、「ON」を点滅させる。

④ ►■ボタンを押す。
「START」が1秒間点灯した後、「DATE」が点滅します。

(次ページへ続く)

2 タイマー録音を開始する日を設定する。

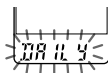
●年月日を指定する場合

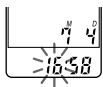
① 「DATE」が点滅している間、►■ボタンを押す。
② I◄◄ または►►Iボタンを押して「年」の数字を選び、►■ボタンを押す。
③ 同様にして「月」、「日」の数字を選ぶ。

●週に1回録音したい場合

I◄◄ または►►Iボタンを押して曜日を選び、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

●毎日決まった時刻に録音したい場合

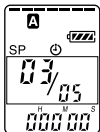
I◄◄ または►►Iボタンを押して「DAILY」を選び、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

3 録音を開始する時刻を設定する。

① I◄◄ または►►Iボタンを押して「時」の数字を選び、►■ボタンを押す。
② I◄◄ または►►Iボタンを押して「分」の数字を選び、►■ボタンを押す。
「END」が1秒間点灯した後、録音終了時刻の「時」の数字が点滅します。

4 同様にして録音を終了する時刻を設定する。

5 録音モードを設定する。

I◄◄ または►►IボタンをおしてSPまたはLPを選び、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

6 メニュー(MENU)ボタンを押す。

通常の表示に戻ります。
「⏻」が表示されます。

設定した録音開始時刻になると、自動的に録音が始まります。
録音中は「⏻」が点滅します。
録音が終わると、録音した用件の頭で停止します。

タイマー録音を途中でやめるには

■（停止）ボタンを押します。

タイマー録音設定を変更するには

30ページの手順2、3、4または5で⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して年月日、時刻を変更し、►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押します。

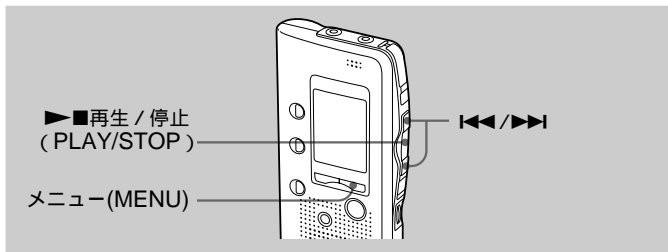
タイマー録音設定を解除するには

29ページの手順1の③で「OFF」を選んで►■再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押します。

ご注意

- タイマー録音は1件のみ設定できます。
- タイマー録音が始まると、自動的にタイマー録音設定で選んだ録音モードになり、録音が終わると、自動的に録音モード設定で選んだ録音モードに戻ります。
- タイマー録音設定を行う前に、録音可能時間（36ページ）を確認してください。タイマー録音に要する時間が録音可能時間より長いと、タイマー録音設定ができません。ただし、毎週、または毎日で設定する場合は、1回目のタイマー録音時間が録音可能時間より短ければ設定はでき、2回目以降の録音は録音残り時間がなくなるまで行われます。
- 選んだフォルダにすでに99件録音されているか、メモリーがいっぱいの場合はタイマー録音できません。
- タイマー録音開始時刻が23時59分以前で、終了時刻が0時00分以降の場合、終了時刻は翌日になります。
- アラーム再生中にタイマー録音開始時刻になった場合、再生を中止し、タイマー録音が始まります。
- 録音以外の動作中にタイマー録音開始時刻になった場合は、動作を中止し、タイマー録音が始まります。
  録音中にタイマー録音開始時刻になった場合は、そのまま録音を続け、タイマー録音は中止されます。

希望の時刻に再生を始める ― アラーム再生

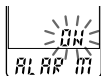
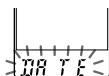
あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。また、用件再生をせずにアラーム音だけ鳴らすこともできます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

(16ページの手順1、2参照)

2 メニュー (MENU)ボタンを押す。

「ALARM OFF」が表示されます。
(すでにその用件がアラーム設定されていると「ON」が表示されます。)

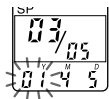
ご注意
時刻設定をしていない場合や、用件が録音されていない場合はアラーム設定はできません。

3 アラーム設定を「ON」にする。

4 アラーム再生する日を設定する。

●日付（DATE）を指定する場合

①「DATE」点滅中に►■を押す。

②|◄◄/►►|で「年」の数字を選び、►■を押す。

③同様に「月」、「日」の数字を選び、►■を押す。

●週に1回再生したい場合

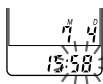
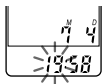
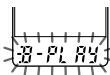
|◄◄/►►|で希望の曜日（「SUN」～「SAT」）を表示させ、►■再生／停止（PLAY/STOP）を押す。

●毎日決まった時刻に再生したい場合

|◄◄/►►|で「DAILY」を表示させ、►■再生／停止（PLAY/STOP）を押す。

5 アラーム再生する時刻を設定する。

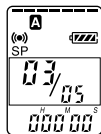
①|◄◄/►►|で「時」の数字を選び、►■を押す。

②同様に「分」の数字を選び、►■を押す。

6 |◄◄/►►|で「B-PLAY」（アラーム音後に用件再生）または「B-ONLY」（アラーム音のみ）を選ぶ。

7 ►■再生／停止（PLAY/STOP）を押す。

設定が完了しました。

8 メニュー(MENU)ボタンを押す。

通常の画面に戻ります。
アラーム設定された用件には「((•))」が表示されます。

その他の機能

(次ページへ続く)

設定した時刻になると、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります。(「B-ONLY」を選んだ場合はアラーム音のみが鳴ります。）
再生が終わると、自動的に停止します。（アラーム再生した用件の頭に戻ります。）

☞ **アラーム再生された用件をもう一度聞くには**
►■再生／停止 (PLAY/STOP)ボタンを押すと、その用件の始めから再生されます。

☞ **用件が再生される前に止めるには**
アラーム音が鳴っている間に■停止(STOP)ボタンを押します。ホールド(HOLD)スイッチが入っていても止められます。

アラーム設定を解除するには

32ページの手順3で「OFF」を選んで►■再生／停止 (PLAY/STOP)を押す。

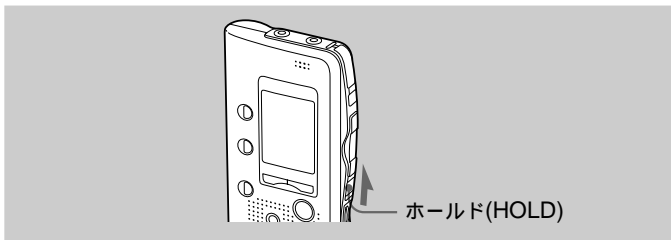
アラーム設定内容を変更するには

32ページの手順1～3を行い、現在設定されているアラーム再生日が表示されたら手順4～7で新しい内容で設定する。

ご注意

- すでに他の用件でアラーム設定またはタイマー録音設定されているのと同じ時刻を設定しようとすると、「PRE SET」が表示され、アラーム設定はできません。
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
- アラーム再生中にタイマー録音開始時刻になった場合は、再生が止まり、タイマー録音が始まります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、録音終了後にアラーム音が鳴ります。「((•))」のみが点滅します。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
- アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。

- アラーム再生を設定した用件にインデックスを追加した場合、分けた点より前の部分のみアラーム再生されます。
- アラーム再生を設定した用件のインデックスを削除し、前の用件とつなげた場合、アラーム設定は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量（VOL）つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

誤操作を防止する— ホールド機能

ホールド(HOLD)スイッチを矢印の方向にずらします。「HOLD」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。

操作できるようにするには、ホールド(HOLD)スイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

ご注意

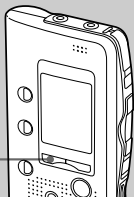
録音中にHOLDにした場合、録音を止めるには、まずHOLDを解除してください。

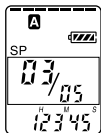
ホールド中でもアラーム再生は止められます。

アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■停止(STOP)ボタンは使えます。（通常の用件再生は停止できません。）

表示を切り換える

表示（DISPLAY）切り換えボタンを押すと下記のように表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた表示モードになります。

☞ **現在時刻表示について**
停止中に3秒以上何も操作しないと、表示モードに関係なく、現在時刻表示になります。

カウンター表示モード

ひとつの用件の中の経過時間を表示します。

残り時間表示モード

停止中、録音中は録音可能な残り時間を表示します。
再生中は、その用件の残り時間を表示します。

録音年月日表示モード

用件を録音した年月日を表示します。
（時計を合わせていない場合は「--Y--M--D」と表示されます。）

録音日時表示モード

用件を録音した時刻を表示します。
（時計を合わせていない場合は「--:--」と表示されます。）

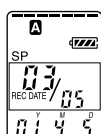
メニュー一覧

：初期設定

：►■再生／停止 (PLAY/STOP)ボタンで決定して進みます。

：I◄◄ または►►Iボタンで選びます。

設定を変える

37ページのメニュー一覧にしたがって操作してください。

① メニュー（MENU）ボタンを押してメニューモードに入る。
② ⏮/⏭ボタンで設定したい項目を選び、►■ボタンを押す。
③ ⏮/⏭ボタンでモードを選び、►■ボタンを押して決定する。

● **アラーム再生**（ALARM）32ページ参照。

● **タイマー録音**（TIMER）29ページ参照。

● **録音モード**（MODE）

SP: 最大127分の録音ができます。よりよい音質で録音できます。
LP: 最大339分の録音ができます。

● **ビープ音（ピッという確認音）**（BEEP）

ON: 操作時の受付確認音が鳴ります。
OFF: 操作時の受け付け確認音が鳴りません。（アラームは鳴ります。）

● **コンティニュー再生**（CONT）

ON: 用件を続けて再生します。
OFF: 用件が終わるごとに止まります。

● **マイク感度**（SENS）

H: 会議録音モード。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。（例：会議を録音するとき）
L: 口述録音モード。近くの音や大きい音を録音するとき使います。（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）

● **デジタル**VOR（VOR）

ON:ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。
OFF:●録音／停止 (REC/STOP)ボタンで録音を開始、停止します。

● **イージーサーチ**（EASY-S）

ON: ⏮ボタンで約3秒戻り、⏭ボタンで約10秒進みます（19ページ参照）。
OFF: ⏮ボタン、⏭ボタンで用件を送ります（18ページ参照）。

● **時計設定**（SET DATE）10ページ参照。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60°C以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内。（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダーなどに録音、またはパソコンなどにバックアップを保存してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のテクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、46ページをご参照願います。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	● 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。 ● 乾電池が消耗している。 ● ホールド(HOLD)スイッチが入っている。(ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。)
スピーカーから音が出ない。	● イヤホンまたはヘッドホンが差し込まれている。 ● 音量が絞られている。
「FULL」が点滅し、録音できない。	● メモリーがいっぱいになっている。 →不要な用件を消去する。(21ページ参照) ● 選んだフォルダに99件録音されている。 →別のフォルダを選ぶか、不要な用件を消去する。(21ページ参照)
上書き録音できない。	● メモリー残量が不足している場合は上書き録音できません。上書きされる部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間分のみです。
雑音が入る。	● 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 ● 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 ● 外部マイク（別売り）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 →プラグをきれいにクリーニングする。 ● イヤホン／ヘッドホンで聞いているとき、イヤホン／ヘッドホンのプラグが汚れている。 →プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	● マイク感度（SENS）が「L」(口述)になっている。「H」(会議)に切り換える。(38ページ参照)
録音が途中で止まる。	● デジタルVOR（38ページ）が作動している。VORを使用しないときは、「VOR OFF」にする。
録音レベルが不安定。(音楽などを録音したとき)	● 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。

症状	原因／処置
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	● 再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「標準（NORMAL)」に合わせる。(18ページ参照)
時計表示が「--:--」になる。	● 時計を合わせていない。 (10ページ参照)
REC DATE表示が「--Y--M --D」または「--:--」になる。	● 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されない。
「PRE SET」が表示され、アラーム再生設定、タイマー録音設定ができない。	● すでに他の用件でアラーム設定またはタイマー録音設定されているのと同じ時刻を設定しようとすると、設定はできません。
バックライトがつかない。	● 明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。
電池の持続時間が短い。	● 10ページの乾電池の持続時間は、音量（VOL）つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）。使用条件によっては短くなる場合があります。
正常に動作しない。	● 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

エラー表示一覧

エラー表示	原因／処置
「PRE SET」	● すでに別の用件で同じ日時にアラーム再生またはタイマー録音が設定されています。アラーム時刻を変えるか、設定を変更してください。
「BACK-D」	● 現在日時よりも前の日時でアラーム再生またはタイマー録音を設定しています。年号などもう一度確認して、設定し直してください。
「NO ERASE」	● 異なったモード間のインデックス削除はできません。
「NO DATA」	● 選んだ用件フォルダには用件が１件も録音されていません。用件が録音されていないと、アラーム設定などの操作はできません。
「SET DATE」	● 時計合わせをしていないと、アラーム再生やタイマー録音は設定できません。10ページの手順で設定してください。
「ID FULL」	● 1フォルダ内の用件の合計数が99件を超えているか、メモリーの残量が足りないため、インデックスが追加できません。いくつか用件を削除してからやり直してください。
「FULL」	● メモリー残量が足りないため、録音できません。 いくつか用件を削除してからやり直してください。
「ACCESS」	● 電池を入れたとき表示されます。この表示が出ている間は、電池を抜かないでください。

（次ページへ続く）

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音時間まで録音できない。	• SPモードとLPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSPモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 • 最小録音単位（SPモードでは約16秒間、LPモードでは約42秒間）があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります（14ページ）。 • 最小録音単位より長い用件の場合でも、端数が出た場合は、同様に実際の録音時間よりも多く残り時間が減ることがあります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
インデックスの追加ができない。	• 1つのフォルダ内で、99件を超えると、インデックスは追加できません。 • インデックスを頻繁に追加または削除すると、インデックスの追加ができなくなることがあります。
インデックスの削除ができない	• 異なる録音モード（SP/LP）間のインデックスの削除はできません。 • インデックスを頻繁に追加または削除すると、インデックスの削除ができなくなることがあります。

主な仕様

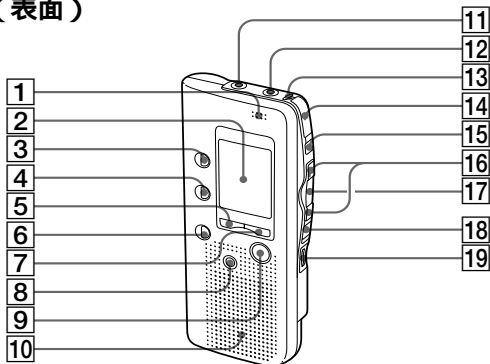
録音方式	内蔵フラッシュメモリー使用　モノラル録音
最大録音時間	SP 127分 LP 339分
周波数特性	SP: 250～7,300Hz／LP: 300～3,500Hz
スピーカー	直径 32mm
入・出力端子	イヤホン（ミニジャック／モノラル）出力 　負荷インピーダンス 16～300Ω マイク（ミニジャック／モノラル）入力 　プラグインパワー対応 　最小入力レベル 0.6mV
再生スピード調節	FAST ＋30%、SLOW –15%
実用最大出力	300mW
電源	DC 3V　単4形アルカリ乾電池2本使用
最大外形寸法	約44.5×105.3×14.0mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず
質量	68g（アルカリ乾電池LR03 2本含む）
付属品	ソニーアルカリ乾電池LR03（2）／イヤホン（1）／ キャリングポーチ（1）／取扱説明書（1）／保証書（1）／ ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売アクセサリー	モノラルイヤーレシーバー MDR-EX17MM（国内のみ）／ エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-Z60（ズームマイク）、ECM-T15、ECM-T115（タイピン型）／接続コード RK-G64

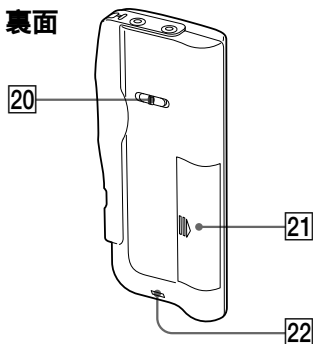
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

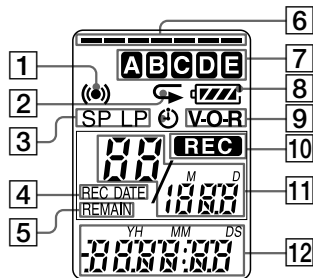
ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では、国によって扱っていない別売りアクセサリーもあります。

各部のなまえ

本体（表面）

1 内蔵マイク(MIC)（☞12ページ）
2 表示窓（☞45ページ）
3 フォルダ（FOLDER）切り換えボタン（☞12、16、28ページ）
4 インデックス(INDEX）ボタン（☞25ページ）
5 表示(DISPLAY) 切り換えボタン（☞36ページ）
6 A-Bリピート（A-B REPEAT)ボタン（☞20ページ）
7 メニュー（MENU）ボタン（☞10、29、32、37、38ページ）
8 消去（ERASE）ボタン（☞21ページ）
9 ■停止（STOP）ボタン（☞13、17ページ）
10 スピーカー
11 マイク(MIC)ジャック（☞15ページ）
12 イヤホン（EAR）ジャック（☞17ページ）
13 録／再（OPR）ランプ（☞12、17ページ）
14 ●録音／停止（REC/STOP)ボタン（☞12、23ページ）
15 ❚❚一時停止(PAUSE)ボタン（☞13、17ページ）
16 ⏮レビュー(REVIEW)／⏭キュー(CUE)（早戻し／早送り・メニュー内項目選択）ボタン（☞11、16、18、19、25、29、32、37、38ページ）
17 ►■再生／停止（PLAY/STOP）・決定（EXECUTE）ボタン（☞11、17、18、28、29、32、37、38ページ）
18 ホールド（HOLD）スイッチ（☞35ページ）
19 音量（VOL）つまみ（☞17ページ）

裏面

20 再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチ（☞18ページ）
21 電池ぶた（☞9ページ）
22 ハンドストラップ取り付け部（ハンドストラップは付属していません。）

表示窓

1 アラーム表示（☞33ページ）
2 リピート表示（☞18、20ページ）
3 録音モード（☞38ページ）
4 REC DATE（録音日付、時刻）表示（☞36ページ）
5 REMAIN（録音可能時間）表示（☞36ページ）
6 メモリー残量表示（☞14ページ）
7 フォルダ表示（☞12、16ページ）
8 電池交換時期表示（☞10ページ）
9 VOR録音表示（☞38ページ）
10 REC（録音）表示（☞12ページ）
11 選んだ用件番号（☞12、16ページ）、メニュー内のモード表示（☞11、29、32、37ページ）（ON、OFFなど）
12 カウンター、残り時間、録音日時、現在時刻表示（☞36ページ）、メニュー表示、操作メッセージなど。

ご注意

明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：ICD-B15
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 **東京都品川区北品川**6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。